

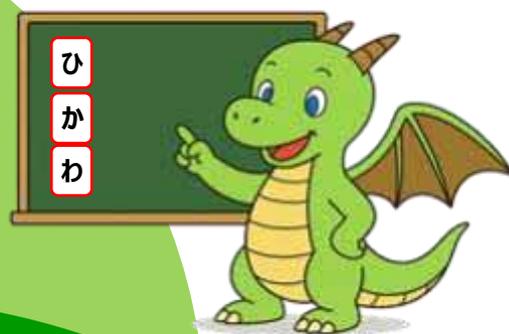
令和6・7年度 熊本県教育委員会指定

「熊本の学び」プロジェクト校

令和7年度 氷川町教育委員会指定

「学力充実・ICT活用」

研究発表会



研究主題

「安心して学び合える学級集団づくり」

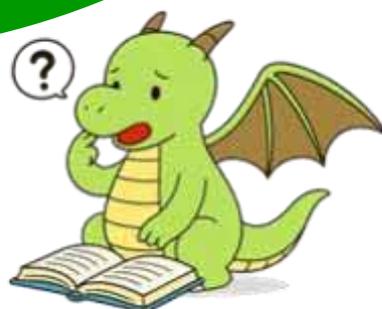
～主体的・対話的で深い学びが

展開されるクラスを目指して～



令和8年1月20日(火)

氷川町立竜北中学校



令和7年度 竜北中学校 校内研究構想図

学校教育目標

『夢』の実現へ向け、主体的に学び続ける竜中生
～生徒・地域と共に創っていく学校～

校内研究テーマ

「安心して学び合える学級集団づくり」

～主体的・対話的で深い学びが展開されるクラスを目指して～

研究の仮説

- ①「心理的安全性」(話しやすさ、助け合い、挑戦、新奇歓迎)が確保された教室であれば、クラスの間みんなが自分の意見や考えを自由に表現し、主体的に学びにとりくむ生徒の姿が見られ、学習意欲も向上するであろう。
- ②教師が「学び合い」を目指した授業づくりを実践すれば、「主体的・対話的で深い学び」が実現し、生徒が考えを深め、広げることで、「勉強の面白さ」を実感できるだろう。
- ③教師が「学び合い」を目指した授業づくりを実践する中で、生徒同士が考えや意見を交流し、自分の考えや意見が認められれば、生徒の「自己肯定感」がさらに高まるだろう。
- ④生徒が学びの中で「勉強の面白さ」を実感し、「自己肯定感」を高めることで、「主体的に学びに向かう生徒」の育成に繋がり、主体的・対話的で深い学びが展開されるクラスができるであろう。

生徒が「勉強の面白さ」
を感じる

生徒の
自己肯定感が高まる

「学び合い」の授業実践

学習規律の確立
「ひ・か・わ」型
学習の実践

「心理的安全性」(話しやすさ、助け合い、挑戦、新奇歓迎)が確保された教室

教師の願い

- ・自分の考えをもち、主体的に学びに向かう学習集団の育成
- ・夢や希望を持ち、その実現に向け自分の力で未来を切り拓いていく基礎学力の向上及び思考力・判断力・表現力の育成
- ・自分に自信を持ち、何事にも意欲を持って主体的に生きる力が必要

生徒の実態

- ・指示待ち傾向の生徒が見られる
- ・集団の中では、自分の意見や感情を適切に表現できない場面が見られる
- ・見通しをもち計画的に学習することが苦手な生徒がいる
- ・自己肯定感や自己有用感、向上心などが低い傾向にある

新奇歓迎とは、多様な視点や個性を尊重し、それを資源として活かすこと。



特活部会での取組

(1) 短学活・竜中ノート

朝の会、帰りの会の共通実践として、お互いを『ほめる』、教師が『ほめる』ことを通して心理的安全性の確保を図った。

竜中ノートに、教科連絡、1日の振り返りのほか、毎日の学習計画、家庭学習の取組を記入するなど、日々の実践が小さな成果につながっている。



『LOVEシャワー』(ほめほめタイム)



竜中ノートの活用…学習計画

(2) 学級活動



学級活動では、学級会の進め方、発表の場の確保など心理的安全性を高める場の工夫を行った。学期末の共通実践として、『ありがとうメッセージ』書きを行い、お互いに感謝を伝えた。『自分のことを見てくれたと思うとうれしくなった』や『みんなのメッセージを読んであったかくなりクラスが好きになった』などの声が生徒達から聞かれた。



『ありがとうメッセージ』
(人権委員会とのコラボ)

(3) 生徒会活動



1年生から3年生まで一緒に親睦を深めたクラスマッチ。『他の学年との交流で先輩たちと仲良くなり学校生活がさらに楽しくなりました』との声が1年生から聞かれた。



他学年を繋ぐ取組(グループエンカウンター・クラスマッチ)



(4) CS活動(地域とのつながり)



氷川町全体で行われているCS(コミュニティスクール)活動は、地域とのつながりを作る重要な役割を果たしている。『15の春を輝かせるために』のスローガンのもと、地域の宝を地域全体で育てる取組が、竜北中校区では行われている。『氷川町のよさを再発見できました』との声が生徒から聞かれた。



『15の春を輝かせるために』

3年CS
竜中マーケット

2年CS
小学生に授業

氷川町の魅力を再発見



ようこそ先輩
～先輩からのアドバイス～



職員体育～安心は職員から～

英語部会での取組



(1) 問いを生み出す導入・展開の工夫と教え合い、学び合いの場面の設定

《単元導入》

【単元目標】

ALTに夏の予定を伝え、
How interesting! と言っ
てもらおう!

夏は海に行くかも~

S2 買い物に行く!

S3 ゲームだね!

T How interesting!
だからね。

S4 ALTの先生が興味を
持ってくれるもの?

S:生徒 T:教師

《単元目標を意識した授業展開》

・ALTとTでデモンストレーショ
ンで導入(例を示す)

・新出事項の定着
(be going to/ will / if)

・教科書本文より使える表現を
獲得

・Small Talkで既習事項の定
着

・ヒントになる既習事項の提示

プリントにある表現が使
えるかもね。

日本的なのかな~?
夏祭りとか?

《ゴール》 学び合いの場面

T How interesting! と思わせる
のが目標だよ。

T 未来のことを表現するには、どうし
たかな?
ALTに興味を持ってもらうためにはど
んな表現がいいかな。

いいね!

海水浴は?

魚つりはどう?

ゲームは夏じゃなくても、
できるからね。

前に海の話があったから、
Interestingかもね。

(2) 心理的安全性を見出すための工夫

- ペア活動を基本とした授業 **助け合い**
- スモールティーチャーの活用 **話しやすさ・助け合い**
- 生徒作品の共有 **新奇歓迎**
- 教師の賞賛と拍手(頑張りを認める習慣を生徒にも)
- 意図的指名(生徒が「できた」を実感)
- 授業の約束の徹底(授業雰囲気向上)
- 分かるまで教える教師の姿勢(安心できる信頼関係)
- 活動の工夫(個人内の成長を実感)
- ワークシートの工夫(困った時に頼れる存在)



数学部会での取組

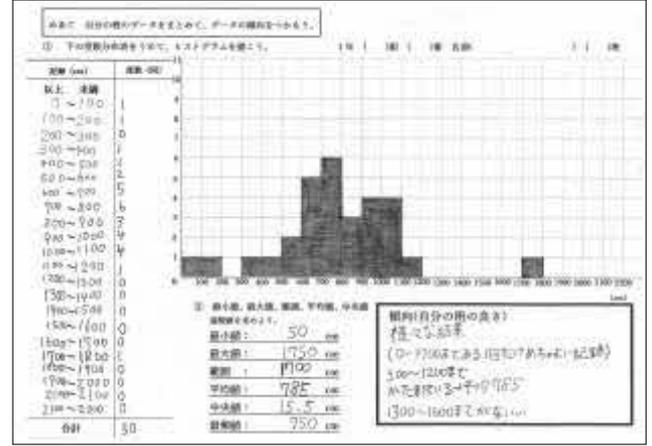


(1) 問いを生み出す導入・展開の工夫と教え合い、学び合いの場面の設定

実践1 単元について生徒の興味・関心を喚起する事柄を示し、課題発見・解決につなげる。

学習課題：クラス代表の2機の紙飛行機を、どんな基準で選べばよいだろうか。(データの活用)

めあて：紙飛行機を投げて一番よく飛ぶ物はどれかヒストグラムを用いて考えよう。

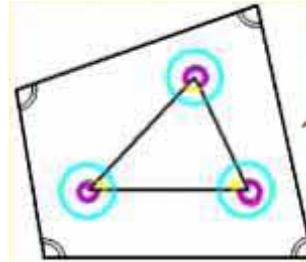


実践2 問題の図形を自分で決めて、答えを求める。

学習課題：四角形の中に三角形の穴があいている紙がある。紙にできる7つの角の和は何度になるだろうか。

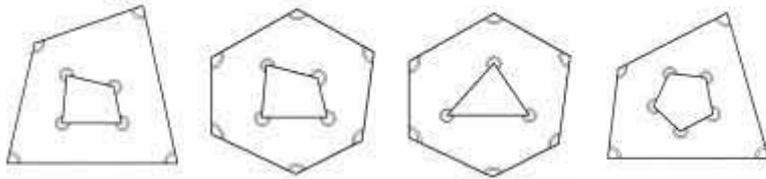
めあて：いろいろな図形の角の和を求めるには、どうすればよいか考えよう。

適用問題：○角形の中に□角形の穴があいている紙がある。紙にできる△つの角の和は何度になるだろうか。(生徒がどんな問題を解きたいか選択する。)



四角形の内角の和は、 $180 \times (4-2)$ だから。

三角形の周りの角は外角なのかな？



(2) 心理的安全性を見出すための工夫

○「ひとりで考える」場面と考えを共有する場面のメリハリのある授業

○自分の意見を伝え合う場面の設定 **新奇歓迎**

助け合い・挑戦

○生徒の発言を生かした、課題解決 **新奇歓迎・挑戦**

○スモールティーチャーの活用(課題に取り組んでいる人のサポート) **助け合い**

○根拠をもとに説明する場面の設定(公式の使い方、問題の考え方を全員で理解) **話しやすさ**

○学び合いが活発になることを想定した数学席の設定 **話しやすさ・挑戦**

○ワークシートの工夫(一人ひとりに考えをもたせる)

○ICTの効果的な活用(困ったときに頼れる存在)

○授業の約束の徹底(授業雰囲気向上)



共通実践事項



(1) 本校独自の共通実践

① 授業づくり

ア 1分前着席・チャイム黙想・挨拶の仕方を揃え、徹底

イ 指示をわかりやすく出して、出来たらほめる

ウ 「めあて」の提示と「振り返り」の徹底

*振り返りの視点・・・自分の生活と結び付けて振り返る

エ 問いを生み出す導入・展開の工夫

オ 教え合い、学び合いの場面の設定



「心理的安全性」を見いだす取組

② 特別活動

ア 短学活

- ・「LOVEシャワー」(ほめほめタイム)(生徒同士で)
- ・竜中ノートへの学習計画の立案

イ 学級活動

- ・学期のはじめにクラスを繋ぐグループエンカウンターの実施
- ・学期の終わりに「ありがとうメッセージ」

ウ 生徒会活動

- ・生徒集会で他学年同士を繋ぐグループエンカウンターの実施



(2) 氷川町内での共通実践

① 「ひ・か・わ」型学習の実践

ひ・・・ひとりで考えよう・やってみよう
か・・・考えを伝え合い・高めよう・広げよう
わ・・・わかったことをまとめよう・確かめよう

② 板書では「めあて」を黄色囲み、「まとめ」を赤色囲みして視覚的にわかりやすくする

③ 「ICT」の活用

